

第15回 サマー
フェスティバル

兵庫トレセン 初優勝！



4 兵庫トレセン対清水FC戦より

第15回ジュニア・サマー・フェスティバルは、ユニバーシアード神戸大会を前に、あわただしい中、例年より1週間早い8月17日から19日まで市内4会場を使用して行われた。

今年は宿舎と会場の都合で、参加チーム数を縮小せざるをえなくなり、五部門とも6チームによる総当たり戦で争われた。その結果、中3以下の部で兵庫トレセンが、清水FCも破り5戦全勝で見事初優勝を飾った。以下中1の部では交野FCが、小6の

部では藤枝FCが、小5、小4の部は両部とも浜松JFCがそれぞれ優勝した。小学生部門ではやはり静岡勢の選抜チームの活躍が目立ち、他地域を圧倒した。主催した神戸FCは、中1と小4の部で準優勝し、小5の部で3位、小6の部で4位に終わった。また、全日本クラブ・ジュニア選手権で優勝し、期待された中3の部では、同大会の疲れが出て、まったく振わず、5位に終わった。

中3以下の部

兵庫県中学トレーニングセンターが、全国でも強豪と目される清水FC（清水市選抜）を2-0で破り、完全優勝を果たした。兵庫県トレセンは県下の優秀なメンバーを集めた選抜チームだが、関西ユース選抜に選ばれた泉竜二（尼崎大庄北中）を中心に攻守ともにバランスのとれた好チームであった。ボールコントロール、走力、パスワークとも確実に全国のトップレベルにあり、高校になってからの活躍が期待される。

中1以下の部

中1以下の部は、緑あふれる六甲山の中、弘陵学園高校で行われた。市街地より1-2度気温が低く、さわやかな風の中、熱い戦いがくりひろげられた。その結果、交野FCが神戸FCに敗れたものの、神戸FCが下位チームにとりこびたため、勝点1の差で優勝を果たした。交野FCは初優勝。

小6以下の部

小6の部はポートアイランド球技場で行われ、いつもこの大会に好チームを派遣して来る藤枝FCと、熊本少年サッカー教室（双方とも選抜チーム）そして、枚方FCが最後まで激しい優勝争いを展開した。その結果、藤枝FCが他を得失点差でわずかに上まって2

年ぶり2度目の優勝を飾った。最近小学生とはいえ1対1の守備のしっかりしているチームが多く、上位争いは、その守備陣をいかに突破できるかが鍵であった。

小5以下の部

小5の部では浜松JFC（浜松市選抜）が5戦全勝で2年連続3度目の優勝を果たした。準優勝は藤枝FCで、さすが両チームともサッカーの盛んな地域の選抜チームだけあって、どのポジションにも穴がなく、キック、トラップ、ドリブルなど個人技がしっかりしていた。

地元神戸FCは、最終日まで無敗で来たが、上位の浜松、藤枝に連敗し、3位にとどまった。

小4以下の部

小4の部も浜松が抜群の強さを発揮し、2年ぶり2度目の優勝を飾った。浜松は失点もわずかに1点と、小学4年生としてはできすぎているような感じがえ受けた。キック力、走力とも神戸市内では1学年以上上のレベルにあり、他チームを圧倒した。

神戸FCは最終日、全勝同士で浜松と対戦し、PKで先取点を上げたが、浜松の猛攻に耐え切れず、1-5で敗れて準優勝にとどまった。

○中3以下の部

順		兵庫	清水	愛知	神戸	高槻	上野	勝点	点差
1	兵庫		02-0	02-1	02-0	03-0	06-1	10	13
2	清水	00-2		03-0	04-1	05-0	05-0	8	14
3	愛知	01-2	00-3		01-1	03-0	01-0	5	0
4	神戸	00-2	01-4	01-1		01-3	05-0	3	△2
5	高槻	00-3	00-5	00-3	03-1		01-0	4	△8
6	上野	01-6	00-5	00-1	00-5	00-1		0	△17

○中1以下の部

順		交野	神戸	城内	愛知	高槻	住北	勝点	点差
1	交野		00-2	02-0	02-1	01-1	04-0	7	5
2	神戸	02-0		03-1	02-0	01-2	00-1	6	4
3	城内	00-2	01-3		02-0	02-1	01-0	6	0
4	愛知	01-2	00-2	00-2		02-1	06-0	4	2
5	高槻	01-1	02-1	01-2	01-2		01-1	4	△1
6	住北	00-4	01-0	00-1	00-6	01-1		3	△10

○小6以下の部

順		藤枝	熊本	枚方	神戸	上野	城内	勝点	点差
1	藤枝		00-0	00-0	01-0	06-0	03-0	8	10
2	熊本	00-0		00-0	01-0	01-0	02-0	8	4
3	枚方	00-0	00-0		01-1	01-0	03-0	7	4
4	神戸	00-1	00-1	01-1		00-0	03-0	4	1
5	上野	00-6	00-1	00-1	00-0		02-0	3	-6
6	城内	00-3	00-2	00-3	00-3	00-2		0	-13

○小5以下の部

順		浜松	藤枝	神戸	郡家	刈谷	松原	勝点	点差
1	浜松		02-1	02-1	02-1	04-0	09-0	10	16
2	藤枝	01-2		02-0	03-0	04-0	06-0	8	14
3	神戸	01-2	00-2		05-0	04-0	05-1	6	10
4	郡家	01-2	00-3	00-5		02-1	02-0	4	△6
5	刈谷	00-4	00-4	00-4	01-2		02-1	2	△12
6	松原	00-9	00-6	01-5	00-2	01-2		0	△22

○小4以下の部

順		浜松	神戸	交野	住北	刈谷	松原	勝点	点差
1	浜松		05-1	02-0	02-0	011-0	08-0	10	27
2	神戸	01-5		01-0	03-0	03-0	07-1	8	9
3	交野	00-2	00-1		04-0	01-0	01-0	6	3
4	住北	00-2	00-3	00-4		06-0	03-0	4	△12
5	刈谷	00-11	00-3	00-1	00-6		05-0	2	△4
6	松原	00-8	01-1	00-1	00-3	00-5		0	△23

神戸市社会人運営会議予定
次回 4月17日(木)

5月15日、6月19日、7月17日、8月21日
9月18日、10月16日、11月20日、12月18日
1月22日、2月19日、3月12日、3月19日
いずれも18時30分から王子登山研修所。
社会人リーグに参加している各チームの
代表者が必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。
〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753
なお、数人分まとめて申し込まれる場合は
割引がありますのでご連絡ください。



ユ-ハイム

ユニバーシアード

神戸ユニバーシアード大会は8月22日、24日の開会式に先立って王子競技場の韓国-英国、中央球技場での北朝鮮-ウルグアイのサッカー競技で開始された。3位内入賞を目指す日本は、一次リーグD組で1位。準々決勝はメキシコを3対1で破ったが、準決勝で北朝鮮に1対0と惜敗した。9月3日、中央球技場で行われた3位決定戦でも中国と対戦、全身の力を込めてぶつかったが、残念ながら4対2と敗れて、銅メダルを目前にしながらわずかに届かなかった。

▷一次リーグ

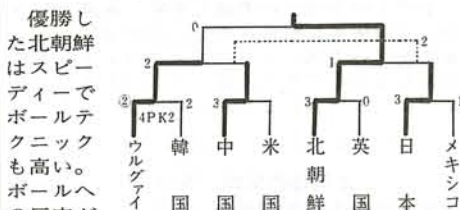
A	組	韓	英	ク	数	勝	分	敗	得	失	勝点
韓	国		06-2	06-1	2	2	0	0	12	3	4
英	国	02-6		02-0	2	1	0	1	4	6	2
クウェート	01-6	00-2			2	0	0	2	1	8	0

B	組	北	ウ	西	数	勝	分	敗	得	失	勝点
北朝鮮			02-0	01-1	2	1	1	0	3	1	3
ウルグアイ	00-2			02-0	2	1	0	1	2	2	2
西ドイツ	01-1	00-2			2	0	1	1	1	3	1

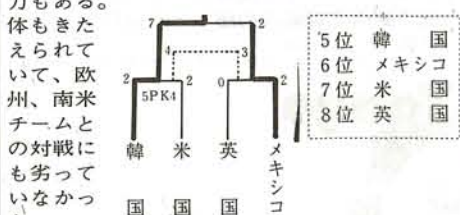
C	組	中	メ	ア	数	勝	分	敗	得	失	勝点
中	国		05-0	02-1	2	2	0	0	7	1	4
メキシコ	00-5			01-0	2	1	0	1	1	5	2
アルジェリア	01-2	00-1			2	0	0	2	1	3	0

D	組	日	米	フ	数	勝	分	敗	得	失	勝点
日	本		02-0	02-0	2	2	0	0	4	0	4
米	国	00-2		01-0	2	1	0	1	1	2	2
フランス	00-2	00-1			2	0	0	2	0	3	0

▷決勝トーナメント



▷5-8位決定戦



日本は8月23日18時中央球技場で、緒戦を米国と対戦、硬い立ち上りとなったことが最後まで尾を引いて、チームとしてのよいリズムを出さずに終わった。米国はきびきびとした動き、体を張ったプレーでよいファイトを見せたが、ゴール近くからシュートまでのプレーが雑では日本は救われた。35分倉田、89分関塚の得点で2-0の勝利はラッキーであった。8月28日18時中央球技場の第2戦、日本は始めから気合が入っており、厳しいチェック

神戸大会
サッカー

北朝鮮が優勝！



善戦しながら4位に終わった日本代表

北朝鮮対ウルグアイの優勝戦



で互角に渡り合った。7分、佐野のヘディングでフランスを先制した。51分には湯田が左サイドから、GKの頭を越す技巧的なシュートを決めた。完勝といえる試合運びであった。準々決勝は両チーム出足よく、しかも球ばなれが早い小気味よいテンポで始まった。日本は36分、左2メートルのFKを鈴木が右ゴールミに決めて先行した。メキシコは日本のDFラインを破れず、攻めあぐんでいる。58分正面25メートルのFKを鈴木が流し関塚が直接決めた。63分DFのファウルでPKとなりM・カルカモが決め、メキシコがベースをつかみかけた75分、大塚のパスを鈴木が30メートルドリブルし、冷静にキーパーをかわして準決勝進出を決めた。日本の健闘が光った。

日本が準決勝に勝つためには攻撃的な守備が必要である。1、バックラインの早い押し上げからホワードラインとの間をせばめ北朝鮮選手の活動量を封じ込めてボールを奪う。2、7番、9番、10番、11番の4選手に対しては徹底したマンツーマン守備、特に9番ユンに対して

はボリスマンが必要。3、ボールを持っている選手への寄せを早く厳しに行い、タテパスを防ぐ。1と3の要素がやや未消化であったが、よく70分、7番キム・ヨンナムの1点だけに押える守備を行った。大学年齢層の練習に具体的な課題を与えてくれたゲームとして意義のある一戦であった。3位決定戦は銅メダルを目指す両チームにしては、スロートンボでゲームが進んでいった。15時試合開始とあって日差しも強く、暑さが最も怖い相手となる。中国は確実にボールをつないでスピードあるトップを走らせチャンスを作っていく。2分に右サイドからのこぼれ球を決めて楽にゲームを進めるかと思われたが、日本も思い切りの良いシュートで応酬して前半はシーソーゲームとなり11分菅野、39分呉群立、40分望月と得点して2-2。後半、日本DFは簡単にボールに飛び込んでしまい、中国FWにししばしば突破され崩されていった。59分、16番陳東、62分にも6番魏克興に決められて敗退した。

有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(412)2601
阪神御影駅南側西へ30m

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5-26 ☎078(576)0870
高速大開駅東

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ・トーアロード店 ☎078(391)0896
ドルチェ・マック・センター街店 ☎078(332)0141

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

サッカーショップPKF

中央区下山手通3丁目3-10 ☎078(332)5519
(861)4146

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

神戸市選抜決勝で惜敗

第36回五大都市体育大会 神戸で開催

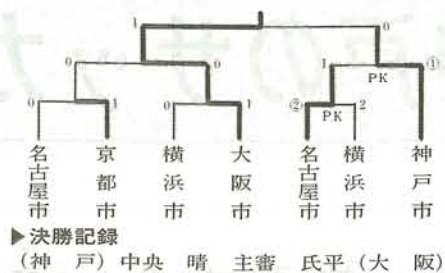
第36回五大都市大会は、ユニバーシアードを控えて美しく手入れされた中央球技場を主会場に7月12日から開催された。各都市のメンバーは、老練者中心の横浜、大阪。若手中心の京都、名古屋と充実したチームが多く、神戸は多少メンバー不足の感じはいまなかった。しかし開催都市の意地を見せて、選手全体がよくまとまり、何とか決勝に進むことが出来た。決勝戦も押しぎみにゲームを進めながら、大阪、秋田の後半の一点に涙をのんだ。

▶ 2回戦記録

(神戸) 磯上 晴 主審 氏平(名古屋)

大谷 峰彦	シュート	ゴール	監督	ゴール	シュート	鈴木 登
八木 重光	シュート	主審	主務	ゴール	シュート	若山 卓生
水野 修	シュート	主務	主務	ゴール	シュート	安藤 隆宏
1 福山 嘉夫	○	G.K	○	G.K	○	鈴木 和則
2 山本 伸吾	○	○	○	○	○	安藤 隆宏
3 水野 修	○	○	○	○	○	青木 宏憲
4 羽田 功	1	○	D F	○	○	深谷 勤
6 前田 正司	○	○	○	○	○	池田 和祐
5 西田 正雄	○	○	○	○	○	岡田 暁龍
12 大村 昭洋	3	○	M F	○	○	森田 一
18 坂本 浩二	2	○	○	○	○	杉本 6
9 浜田 浩二	1	○	○	○	○	1 酒井 隆
11 林 啓太	2	○	F W	○	○	山口 勉
13 厚田大加志	○	○	○	○	○	田中 元
	9	1	10	計	9	1
						10

得点経過[各]15分9' 14 S [神]29分11' 18 S



▶ 決勝記録

(神戸) 中央 晴 主審 氏平(大阪)

大谷 峰彦	シュート	ゴール	監督	ゴール	シュート	周参見 修
八木 重光	シュート	主務	主務	ゴール	シュート	仲村 芳隆
水野 修	シュート	主務	主務	ゴール	シュート	秋田 晃司
1 福山 嘉夫	○	G.K	○	G.K	○	松本 伸二
2 山本 伸吾	○	○	○	○	○	角田 憲彦
3 水野 修	○	○	○	○	○	秋田 晃司
4 羽田 功	○	○	○	○	○	山野 孝義
6 前田 正司	○	○	○	○	○	1 北田 恵一
5 西田 正雄	○	○	○	○	○	中村 正利
12 大村 昭洋	2	○	M F	○	○	馬見新悦郎
18 坂本 浩二	4	○	○	○	○	脇家 一昭
9 浜田 浩二	1	○	○	○	○	5 服部久仁雄
11 林 啓太	1	○	F W	○	○	1 野本 8
13 厚田大加志	○	○	○	○	○	5 濱田 陽司
	13	0	計	1	14	(43分2番と交替)

得点経過[大阪]後半、3番秋田P. Kを決める。

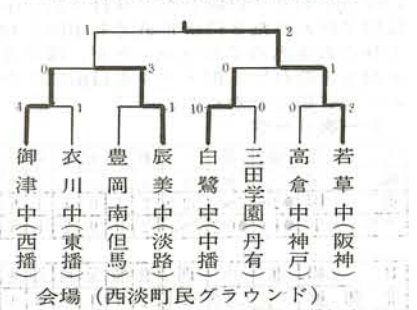
若草中初優勝

兵庫県中学校総合体育大会

決勝戦は辰美中が最初から積極的に攻め、右からのスローイングを斎藤正典が受けドリブル突破から36秒、ゴールを奪う。若草中も気落ちすることなく攻め上り、縦へのスピードを生かして、左から園田、城釜がドリブルで突破し再三シュートを放つ。18分C. Kを岡沢がけたあと坂戸が折り返し、城釜が決めて追いついた。後半は風上の辰美中がロングシュートで主導権を握る。しかし、若草中D. Fの集中度が高く、忠実なブレイとカバーで失点を防ぐ、32分逆に辰美中D. Fの薄さをつき、城釜から田中、坂戸につなぎ左側ヘシュートを決めた。その後、辰美中斎藤正典がドリブルから何回もシュートを打つが、若草G. Kが好守。

若草中のボールに対する集中力とオープンスペースへの走り込みが、辰美中D. Fの浅さを突き、勝利を得たと言える。

昭和60年度兵庫県中学校総体結果



淡路選抜優勝 60年度県民大会

兵庫県民大会はほとんどの種目が国体予選を兼ねて実施しているが、サッカーは赤川杯をかね県下7支部プラス県中学選抜の8チームによる選抜チームの大会として毎年8月初旬に行われている。今年度は但馬、丹有が出場せず、6チームによる参加で実施されたが、淡路が東播を破り優勝、主力の殆んどを国体代表に抜かれた神戸が阪神を下して三位に入賞するなど実力迫中の競いが展開された。

中でも中学選抜が東播と善戦、阪神と引き分ける活躍をし将来に明るい希望を残した。来年度は各支部にトレーニングセンターが開設される予定であり、従ってこの大会も益々レベルアップされるものと期待している。

その他の記録 (関係分)

▶ 全国社会人選手権大会 (11月16~20日・葦崎市) ○ 2回戦 — 三洋洲本 1-0 川重岐阜
○ 準決勝 — NTT関西 1-0 三洋洲本
▶ 国体関西予選成人の部 (8月18日、大阪) 兵庫 1-3 大阪

日本サッカーにルネサンスは起こるか？(23)

枚方FC 近江 達

環境と個性

熱心に長い間、手とり足とり訓練されすぎていると、オーケストラに入って、これが邪まになる。かえって、野放しの教育を受けて、もっと呑気にやってきた方が伸びるという声もある。

吉田秀和

個性の発達にはある程度が必要不可欠だが、その点、今の子供たちは過保護ではあるけれども自由に育っているため、戦前の子供たちよりもはるかに多種多様である。その調子で大きくなっていけば、それぞれ相当個性豊かな大人になっていくはずである。ところが、どうもそうはならないようである。育っていく間に、社会環境とか教育とかいんなものに影響され指導されて変ってゆき、多様性の幅が次第に狭まってしまふ。

もともと日本人は自我が貧弱で、自分自身の意見をもたず、集団性の強い民族なので、子供の頃から何かにつけて人の多い方に集ってゆき、皆と同じになろうとしたがる。

また、人は皆そうであるべきだと信じているので、そうしないものを疎外するので困る。自分は自分、人は人、我が道を行く主体性が乏しいので、流行に弱い。流行運はバカにされるから、いつも人を気にしている。

これは今の小学生から大学生や若者まで、とくにひどい。反抗を生き甲斐にしている非行少年でさえ、たぶんに流行だから、恰好いからしているんだ、というのが多い。

事大主義も強い。事大とは、「おおきにつかえる」という意味で、その思想に賛成だから同調するのではなく、勢いや力を見て、盛大なものに従っていくという生き方を言う。

多数派につけば得だ、そうしとけば間違いない、といった政治家の田中角栄一派が雪ダルマ式にふくれ上るとか、どのテレビチャンネルを回しても同じ歌手やタレントばかり、といった現象もこの類である。

ある側面から見ると、日本ではこうした国民性にもとづく流行、事大主義、それにもうひとつ、教条主義が加わって、この三つが世間を変えてゆく原動力になっていると言っても決して過言ではなからう。外国の場合も同じことはあるにしても、少なくともわが国ほどひどくはない。それぞれ独自の考えや意見、好みなどをもっていて、批判力も選択力も強いので好き嫌いがハッキリしていて、ものの本質を見きわめる力もある。

第一、日本のように、マスコミや世間がよいと言うから「いい」とか、新しいからいい、流行だからいいのだ、という考え方はほとんどない。社会環境の影響は大きいので、そういう外国の社会の中で育てば、日本人の子供でも内地の子供とは違ってくる。現在、海外に相当多数の日本人家族が在留しているが、外国で育って帰国した子供たちは内地の子供たちよりも積極性があり個性的である、と言われている。サッカーにしても、以前活躍し

たネルソン吉村、ジョージ小林、セジジオ越役、現役のジョージ与那城などのブラジル人たちは、レッキとした日本人だが、向うで生れ育ただけで内地人と違って個性的である。今、西独でプレーしている奥寺にしても、日本でプレーしていた頃とちがって、遅ればせながら彼らの個性がはっきりした形をなしつつあるような印象を受ける。

自我が貧弱で個性的でない日本人でも、個性の発達に好都合な環境で育てば結構個性豊かになれるわけで、この事実は逆に、国内で育つと折角芽生えつつあった自我や個性も薄められて変ってしまうのだということの証明にもなる。教育現場にいたっては、おそらく、自我や個性なんて眼中にないだろう。芸術に関連した分野以外では、個性という概念さえ存在してないのではなからうか。

“アイ”と“ユー”

「この試合は準決勝進出がかかっているからぜひ勝ちたいと誰もが思う。私もそうだ。しかし、勝つことにこだわってフランス・サッカーの持ち味を殺すことはない。いつものとおり、フランス流のサッカーをやってほしい」

82年ワールドカップ、フランスチームのミシエル・イダルゴ監督

教育の力は強大だが、外人の場合はもともと自我が鮮明で自立心も強いので、日本人と同じ教育を受けても、個性が潰されないで育つという違いもあるらしい。一例をあげると、メキシコで子供たちにバイオリンを教えている黒沼ユリ子氏によると、日本人の子供は、教わったとおりそっくりそのまま一生懸命覚えこもうとする。形や原則を重んずる民族なので、すぐに覚えて巧くなる。その代り個性がなく、皆同じような音になってしまう。

メキシコの子供たちの方は教えこんでもなかなか言うとおりにしない。すぐに飽きてしまう。ちょっと難しいとか手数がかかると、「そんなのムリだ。できないよ」と言って覚えようとしな。だが、覚えてしまったときには、余分な力を抜いて自分のものにしていて、一人ひとり違った音を出すのだそうだ。

自我や自立心がある程度しっかりしてこそ個性も育つわけで、すぐに教科書なり教師の教えに頼ったり、自分がどう見えるか人目ばかり気にして、つぎつぎ流行にとびついたり既成の習慣に従ってしまったりでは、なかなか個性は育たない。理屈っぽい話をする、意志の疎通や思考には言葉を使う。会話、仕事上の交渉、社交、すべてそうだから、言葉が違えば、人々の内面も社会も違うと思ってよい。そういう観点からみると、衆知のように、日本語の文章は主語なしでも成り立つが、欧米の言語では主語のない文章なんてない。必ず主語がある。そのことに関して専門家が言うには、向うのIとYOUとは、いわば完全な対立関係にあり、日本語ではそういう西欧的な意味でのIに相当するものはなく、そ

この連載は、雑誌サッカー・ジャーナルに連載されている枚方FCの指導者、近江達氏の随想をサッカー・ジャーナルのご好意で転載しております。



△昨年のキリンカップ、サントス対全日本戦から毎年日本に来日する外国チームは、個性豊かなプレーを私たちに見せてくれる。

(写真提供 富士信男氏)

うしたきびしい個と個との対立はないのだそうである。

言われてみると、たしかにこちらは、私だ、ボクだ、オレだ、小生だと、種類や使い分けは多彩でも、何しろ主語がなくていいくらいだから、英語のIのように文章の途端だろうとどこだろうと、かならず大文字で書くようないかめしい自己主張などない。

それどころか、今はそうでもないが、ひと昔前は己を小さく人を大きく立てるのが奥床しいとされていたくらいで、それだけ自我も弱く主体性がないことは間違いない。日本語全体も平板でおだやかだし、向うは言葉自体も話し方もリズムカル、大げさで芝居がかっている。日本人の外国語習得について独得の意見をもち独自の教育を試みている中津遼子氏によれば、日本語は気持を押えているけれども、外国語は押さえなくてもいい。

だから外国語(欧米語)は感情表現でも交渉や対論の場合でも有利で、とくに、子供のビチビチした気持や行動にはとてもふさわしい言葉だそうである。それほど違う言葉の世界でそれぞれ育っていくのだから、大人になったとき日本人と外人とは相当な差異ができてくるのは当然かも知れない。

サッカー指導にしても、一般に管理が強くなると選手は忍従せざるを得なくなるので、どうしても「叱られまい、をむくまい」とする方向に自発性がセットされてしまい、お利口さんの素直な戦士になり、使われるのに便利な選手になり果ててしまう。だから野性的な相手には当然かなわい。競走馬でも外国のは大きくて強いが日本馬は小さく弱い。

これは遺伝もあるが、外国馬は、その上に、ずっと放牧のために野性的で逞ましく育つのに、日本のは小さい頃から狭いところに押しこまれて育てられ、ときどき短期間広い所に放牧されるだけだから、野性味が失われてしまうのである。動物でさえこうだから、まして人間となると、過保護、過干渉やきびしい管理では、野性など到底望めない。

三洋洲本、全国大会へ初出場

関西社会人選手権

昭和60年度全国社会人選手権関西大会は、8月4、11、25日。万博球技場、京都(太陽ヶ丘)、紀三井寺球技場で行われた。各ブロックで勝ち上った5チームが全国大会に出場した。

全国社会人選手権大会関西予選結果

松下エアコン(滋賀)	1	松下エ
豊崎クラブ(大阪)	1	アコン
紫光クラブ(関西リーグ)	1	
三菱重工神戸(兵庫)	2	

御影工高準決勝へ進出!

第38回近畿高校サッカー選手権大会

第38回近畿高校選手権大会は60年7月22日から25日まで、奈良県高体連、奈良県協会的主管、新庄町後援により新庄県民第一グラウンドと新町公園球技場に2府4県の代表を集めて、炎天下文字通りの熱戦を繰り広げた。兵庫からは県総体優勝の御影工業と、2位の滝川第二、3位の福崎高校が出場、御影工業高が京都、滋賀の代表を破って準決勝まで勝ち進み、兵庫県1位の實力を見せた。

第38回近畿高校選手権大会結果

1 摂津(大)	3	2
2 和歌山工(和)	1	1
3 福崎(兵)	3	1
4 樫原(奈)	1	1
5 水口(滋)	3	1
6 大阪商業(大)	1	1
7 御影工(兵)	2	1
8 京都商(京)	2	1
9 高槻南(大)	2	1
10 那賀(和)	1	1
11 大淀(奈)	4	1
12 滝川第二(兵)	1	1
13 天理(奈)	1	1
14 守山(滋)	8	1
15 大工大(大)	2	1
16 山城(京)	1	1

▶ 1回戦 (7月22日、新町公園)

滝川第2高 1 { 1-1 } 4 大淀高

▶ 同 (7月22日、新庄健民G)

御影工業高 3 { 1-1 } 2 京都商高

▶ 2回戦 (7月23日、新庄健民)

御影工業高 2 { 1-1 } 1 水口高

〔評〕御影工業は個人技中心にゲームを展開し、水口はロビングパスを多用した。前半は両チームともにD.Fの当りが軽いが目立ち、そのすきを狙って一点づつ得点した。後半18分、水口守備陣のこぼれ球をするどくつめて御影工業11番上田の見事なシュートで勝利を得た。

▶ 準決勝 (7月24日、新庄健民)

御影工業高

0 { 0-0 } 4 摂津高

得点経過 40分(摂)

11→16 S、47分(摂)

16→S、50分(摂)OWN

ゴール、59分(摂)16 S



株式会社 モルテン

広島/東京/大阪/名古屋/福岡/札幌

モンブランのメインテーマ

“スピードサッカー”

基本のプレーを徹底的に追求し、機能性を第一に考えたサッカーシューズ

markam® & Libero®

親しまれるサッカーウェア

younger®

リベロメイン06

標準小売価格¥9,800

MONTBLANC

リアル・スポーツの追求

モンブラン株式会社

神戸・東京・福岡